

NEWS RELEASE

2026年2月17日

人材育成プログラム「F研」50周年記念式典を開催 ～累計5,007名が受講、現場改善を担う監督者人材の育成を推進～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、1976年に開始した人材育成プログラム「F研（フォアマン研修）」の50周年を迎え、記念式典を開催いたしました。



記念式典の様子



成果発表会の様子

F研は、製造現場における監督者（フォアマン）の育成を目的として、品質管理の推進を起点にスタートしました。現地現物で事実を捉えて課題を明確化し、改善へとつなげるプロセスを軸に、時代ごとに求められる重要な課題をテーマに据え、現場主導で改善活動を推進できる人材の育成を継続しています。

本研修は、各部署から選抜された3～4名でチームを編成し、約4ヶ月間にわたり所属部署の業務を離れて改善活動に専念する実践型プログラムです。2026年1月末時点で217期までが修了し、現在は218期生が研修に取り組んでいます。開始以来の延べ受講者数は5,007名、改善テーマ数は1,639件に上り、現場力の向上に大きく貢献してきました。

近年は、当社従業員に加え、国内外のグループ会社従業員や取引先の方々へと参加の輪が広がり、改善を通じた人材育成の取り組みが社内外へと拡大しています。また、「住友理工グループ・グローバルF研」を通じ、中国およびタイにおいて、日本のモノづくりの強みと海外拠点の特性を融合させた改善活動を展開し、グローバルでの人材育成を推進しています。

2月13日に開催した記念式典では、これまでの取り組みを振り返るとともに、絶え間ない進化を通じて未来を切り拓く決意を改めて共有しました。式典の挨拶で当社社長 清水は「F研こそが、当社のモノづくりの原点であり、人を育てる基盤だと考えている。今後も、時代の変化に合わせてF研をさらに磨き上げ、次代の成長につながっていくことを期待している」と述べました。

当社グループは、経営ビジョン「2029年 住友理工グループ Vision」において、「未来を開拓する人・仲間づくり」を重要な方向性の一つとして掲げています。その実現に向け、長年培ってきたモノづくりの風土と文化を礎に、現場での発見力と改善力を次世代へ継承し、さらなる進化を図ってまいります。

以 上

—— 住友理工について ——

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェア（当社推定）の防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制遮音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部／〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>